



西区を豊かに

2024年
9月1日発行
第45号

発行者 新潟市西区自治協議会 会長 大谷 一男
事務局 〒950-2097新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
メール: chiiki.w@city.niigata.lg.jp



西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟すいか、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽をのせました。

区自治協は各分野に分かれて地域の課題解決に取り組んでいます！

第1部会
防犯・防災、自然環境、住環境

第2部会
健康・福祉、文化・スポーツ、教育

第3部会
産業、区の魅力発信、交通

地域の未来は自分たちでつくる！ 西区自治協議会の活動を紹介します

第1部会

安心して暮らせる西区にするため、防犯事業に取り組めます

第1部会では、環境美化活動と合わせて、防犯事業に取り組めます。西区は、令和5年中、自転車盗難被害の件数が市内8区でワースト2位、特殊詐欺被害の件数がワースト1位でした。これ以上被害を増やさないために防犯事業に取り組み、安心して暮らせる西区をつくりまします。

「自転車止めたら2ロック」駅前呼びかけ運動を行います



特に学生が被害にあっていることから、通学前の学生が多く通る小針駅前、新潟工業高校の学生と一緒に、自転車の施錠を呼びかけました。

参加した学生は「自分が利用する駅で、地域のためになる活動に参加できたことは、良い経験になりました。」「今回の活動で、西区の自転車盗難件数が減少してくれることを願います。」と話してくれました。

9月は内野西が丘駅前、10月は内野駅前を実施予定です。



笑って楽しい「防犯落語」で特殊詐欺を防止しよう！

日時 11月16日(土)午後
会場 黒崎市民会館
演題 笑って楽しく防犯落語
講師 三流亭楽々氏(新潟県防犯アドバイザー)



当日は講演会前に西区功労者表彰式も行います。講演会の詳細は、決まり次第、区ホームページ(右の二次元コード)などでお知らせします。



第2部会

「勇気を出して声かけて」地域の支え合いのきっかけづくり！ 西区で広がるあいさつ運動

第2部会では、昨年度から引き続き、「あいさつ運動」に取り組んでいます。

災害時には、地域で声をかけ合い、支え合う必要があります。そのきっかけづくりとして、まずは日頃のあいさつから、始めてみませんか。



自治協委員が越後線駅前であいさつ運動を実施しています

「毎月5のつく日は“ご”あいさつDAY」です。朝から気持ちよくあいさつをして、良い1日を過ごせますように！



これからの活動予定

- ①9月5日(木) 小針駅前
- ②10月15日(火) 寺尾駅前
- ③11月5日(火) 内野駅前
- ①は7時30分から、②・③は7時から、約1時間実施。

まだまだ協力団体を募集しています

今年度は駅前でのあいさつ運動に加えて、この運動に賛同し協力していただける団体や自治会、学校などを募集しています。現在は、30団体と連携しています。

皆さんも仲間になって、笑顔あふれるあいさつが自然に飛び交う西区にしていきませんか？



子育て支援団体の玄関先にも！オレンジの旗が目印です。

第12回 アートフェスティバルを開催します

in 黒崎市民会館

今年のアートフェスティバルのテーマは「西区を元気に！あばれよう、おどろろ西区」。元日の能登半島地震で大きな被害を受けた西区を、様々な踊りやパフォーマンスで元気づけます。詳しくは区ホームページ(右の二次元コード)をご覧ください。



アート展示部門

日時 11月2日(土)午後1時～5時、3日(日)午前9時～午後4時

内容

- 「わたしの西区自慢フォト&エッセイ」西区八景賞作品
- 新潟大学工学部によるアート作品
- アール・ブリュット作品
- 区内小学生の自由研究優秀作品
- 新潟国際情報大学写真部作品

アール・ブリュット作品

文化的な伝統や流行、教育などにとらわれず、独自の発想と方法により制作した作品です。

ステージ発表部門

日時 11月3日(日)午後1～4時

出演団体(予定)

- 万代太鼓青山翔龍会
- HIPHOPスクール
- 剣詩舞道 都美会
- フラ・ハラウ・オ・カハウケアラニ
- 日本文理高等学校チアダンス部
- 日本舞踊 菊乃会
- Odance studio Roots
- 新潟大学 にいがた総おどり連 新舞 (順不同)



昨年の様子

第3部会

区民にも、区外の人にも、みんなに届け！ 西区の魅力を発信します

第3部会では、西区で暮らす人が西区に魅力を感じ、愛着をもって住み続けられるように、また、西区外で暮らす人にも西区の魅力が伝わって来訪者や移住者の増加につながるように、フォトコンテストやバスツアーを企画しています。

入賞者には豪華プレゼントあり！フォトコンテストを開催します

「第2回 私の西区自慢 写真大募集」

テーマ : 西区の魅力が感じられる写真(景色、食べ物、地域行事、産業、文化、ひと、もの、など)

募集期間: 令和6年12月31日(火)まで

応募方法: 区ホームページ(右の二次元コード)から詳細をご確認ください。



賞・賞品: 「西区ベストショット賞」20作品に選ばれた人には、西区特産品3,000円相当をプレゼント！

西区の魅力的なスポットを巡る、バスツアーを実施します



フォトコンテストに応募する写真撮影にもぴったりです。大学生向けと一般向けの2回開催予定。ぜひ、ご参加ください。

詳細は、区ホームページ(右の二次元コード)からご確認ください。



地域の防災力
向上に向けて

知っておきたい

防災のキホエ



令和6年能登半島地震から8カ月が経ちました。今回の地震で経験したことや感じたことを振り返り、地域の防災力向上につなげるため、年3回発行する本紙において、防災に関するコーナーを連載します。自治協議会委員と一緒に、地域の防災について今一度考え、災害に強い地域づくりを進めましょう。

今号では、似ているようで違う、「避難場所」と「避難所」の違いについて取り上げます。

避難場所 と 避難所 の違いをご存じですか？

避難場所

津波、火災、洪水などのリスクから命を守るために緊急避難する場所

- ◎高台にある広場や大きな公園など、屋外にあることが多い
- ◎風水害、津波、高潮など、災害の種類によって指定が異なる場合がある
- ◎西区の避難場所→平島公園や寺尾中央公園など



避難所

災害のあと、自宅に住めなくなった人が、一時的に共同生活を送る場所

- ◎学校やコミセン・コミハなど
- ◎運営は避難所利用者が主体的に行う
- ◎西区の避難所→各学校や黒崎市民会館など



CHECK

自宅周辺で想定されているリスクや、一番近い「避難場所」と「避難所」はどこか、ハザードマップで確認しましょう。

ハザードマップはこちらから！



ハザードマップの見方を紹介しているよ！



POINT

災害の種類によって避難方法は変わります。命を守るために日頃から正しい知識を身につけましょう。

避難所の運営は誰がするの？

避難所運営の主体は行政ではなく、**利用者の皆さん**です。自分たちの生活する場所だからこそ、自分たちで住みやすい環境を作ることが大切。できることをみんなで協力しましょう。

在宅避難も考えよう！

災害が発生したとき、自宅を離れて避難することが必ずしも正しい行動とは限りません。避難所までの道中に災害に巻き込まれるリスクや避難所生活における大きな精神的負担を考えると、**自宅を避難場所にする「在宅避難」を検討することも重要です。**

新潟・西区の宝物“潟・沼”探訪記 『ドンチ池と河童伝説』

西区にある潟を自治協委員が取材して紹介します！第1回はドンチ池です。

かつて新潟市には約200の潟があったとされていますが、米の増産を目的とした干拓によりその多くが消滅し、現在は16の潟が残っています。そのうち西区には、佐潟、御手洗潟、ドンチ池、金巻の池/水戸際池の4つの潟があります。特に佐潟は1996年にラムサール条約湿地に登録され、さらに、2022年には新潟市が日本で初めてのラムサール条約湿地自治体として認証を受けるなど、注目度の高い、西区の大切な資源です。

本紙では、注目されることの少ない佐潟以外の潟を紹介します。

ドンチ池の今昔物語

現在のドンチ池は、周囲を林に囲まれて、直接見ることはできません。取材のため、林を抜けるケモノ道を果敢に挑戦したのですが、あまりの険しさに断念しました。地元の人によると、10年程前は水辺まで行く道があったようです。

昔は、子どもたちのプール代わりの遊泳の場や散策の場として親しまれ、近隣の小学校の児童たちが遠足で来ることもあったそうです。当時は農業用水として利用し、環境や周囲の美観なども整備されていたようですが、灌漑用水が整備されて農業用水としての役目を終え、現在の姿となりました。



現在のドンチ池

河童伝説

ドンチ池には様々な伝説や幽霊話があります。そのうちの一つ、河童伝説についてお話ししましょう。

ドンチ池の河童は糸毬に化けて出て来るそう。道に糸毬がひとつ落ちていて、村の子どもが「こんげとこに毬がぶちゃられてた」と拾おうとすると、コロコロ転がっていき、止まったり転げたりを繰り返して、いつの間にかドンチ池まで導かれていく。

子どもが池に気が付かず糸毬に近づくと、河童の黒い毛むくじゃらの手が、いきなり子どもの足を掴んで池の中に引きずり込んでしまう。

何とも怖い話ですが、子どもが一人で池に近づかぬよう、戒めの意味が込められているのだと思います。

簡単に見ることができないドンチ池だからこそ、長年人々の進入を阻むことで水難事故や不法投棄から池を守り、自然豊かな環境を作り出しているのだと思いました。まるでタイムカプセルのようなドンチ池は、西区の宝ではないでしょうか。

(取材・文 広報紙特別部会 長澤 良徳)



潟について詳しく知りたい人はこちらから

抽選で5名に1,000円分の図書カードを贈呈します

「西区八景」をテーマに、クイズを出題。

答えが分かった人は感想と一緒に送ってください！

Question

西区の赤塚地区に位置する佐潟は、水鳥の生息地として国際的にみても重要な湿地であることが認められ、1996年に日本で10番目の「○○○○湿地」に登録されました。○○○○に入る言葉は？(文字数は関係ありません。)

Answer

1. ワシントン条約
2. ウィーン条約
3. ラムサール条約

クイズの答えが分かった人は

以下①～③を記載のうえ、広報紙表面の「事務局」あてに郵送、または電子メールを送ってください。

- ①住所、氏名、連絡先
- ②クイズの答え
- ③紙面の感想や西区自治協議会の活動に対する感想・意見・要望など

応募締切 10月31日(木) 図書カード当選者の発表は図書カードの発送をもって代えさせていただきます



西区八景 クイズ

ヒントは
こちら

